

I はじめに

1 「森林・林業日本一のまちづくり」策定の目的

本町では昭和53年に林業関係者等で組織する住田町林業振興協議会が中心となって、「住田町林業振興計画書」を策定し、拡大造林の推進、木材の生産から流通・加工、さらに住宅生産・販売に至る一連のシステム化を推進してきました。また、平成5年度にはそれまでの検証と新たな課題に対応すべく、第2次住田町林業振興計画を策定し、産業循環を図る地域林業の総合的システムの形成を目指し、施策を展開してきました。

「森林・林業日本一のまちづくり」は、地域森林・林業の活性化、とりわけ豊富な森林資源が循環できるシステムを構築するとともに、環境に配慮した循環型地域社会の実現に向け、長期的な展望に立った施策のあり方と方向を示したものです。

2 「森林・林業日本一のまちづくり」の策定にあたって

(1) 目標と実施及び評価

基準年次を平成15年度、平成25年度を一応の目標年度としますが、年度ごとの目標・計画に対する実績評価を大切にし、成果を踏まえた次の課題の確認と取り組み方法へのチェックを行うなど、状況に合わせ柔軟に対応することとします。

(2) 「森林・林業日本一のまちづくり」の位置づけ

このグランドデザインは、地域の産業全体や住田らしい生活の維持・持続と一体化させつつ木材生産から加工・流通に至るまでの地域林業のより強固なシステムの構築、森林資源の有効活用、環境に配慮した森林経営の確立等を図るものです。森林・林業ビジョンを地域社会の循環型実現の基軸に位置づけることで、地域森林・林業の活性化を図るだけでなく、まちづくり実現のためのより処となるものです。

～住田町林業振興計画のあしどり～

目的①豊富な森林資源を高度に活用し、町の経済基盤の安定と林業の長期的な発展
 ②木材の生産から流通・加工、さらに住宅生産・販売に至る一連のシステム化

第1次住田町林業振興計画（昭和52年3月策定）20ヶ年計画

基本方針：林業のあるべき姿の設定、林産物の生産・流通・加工を通ずる地域経済の発展的活動の実現



第2次住田町林業振興計画（平成5年3月策定）10ヶ年計画

基本方針：国産材時代実現に向けた木材の生産・加工・流通体制の整備、森林の多面的利用、林業の担い手対策



森林・林業日本一のまちづくり（平成16年策定）10ヶ年計画

「森林・林業日本一の町づくり」プロジェクト

（住田町総合発展計画後期基本計画より（平成14年度～平成18年度））

課題・背景・資源	<ul style="list-style-type: none"> ● 町面積の大半を占める豊かな森林の体系的な活用が必要であること ● 町有林が全国最大規模であることをベースとした施策が可能であること ● 当町の林業・製材業が「我が国の模範」となりつつあること ● 木質バイオマスエネルギーの活用、森林認証への取組みなど当町の積極的な活動が全国的に注目されていること
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ● これまでの川上から川下までの林業・製材業のシステムを維持・発展させていく ● 森林・林業を取り巻く新しい課題に積極的に取り組むとともに、町内の森林や材木の付加価値を高めていく ● 地域づくり・観光・教育・住宅・公共事業などあらゆる面で「木」や「森」をベースに事業等を展開していく ● 「住田町」自身を森林・林業のブランドとして発信していく ● 以上を総合的に推進し、町内外にアピールしていく